

所 属 鳥取県漁業協同組合（境港支所）

氏 名 やすだ ひろき
安田 弘樹（43歳）

船 名 ちえまる
智恵丸 4.9トン

漁業種類 小型底びき網



～妻を愛するが故。船の名前は妻の名前！～

境港の小型底びき網漁船で、一際目立つ漁船名がある。その名も「智恵丸」。智恵丸に乗る安田さんは、仲間の漁師たちに「船には嫁さんの名前を付けるもんだ」とそそのかされ、安田さんもそういうものかと納得して智恵丸と命名した。今となっては、漁船も妻の様に丁寧扱っているのではよかったですか。

そんな安田さんだが、35歳になってから今の小型底びき網漁業を始めた。なんと、2回目の漁から一人で沖に出て操業していたのだとか。今は研修制度もあり数年、先輩漁師にいろいろ教えてもらえたりするが、この制度ができる前は当たり前のことだった。始めた当初は、漁場も何もかも分からず、全然獲れなかったそう。しかし、どうすれば獲れるのか研究の日々を送った。今となっては、小型底びき網漁業の漁師仲間と肩を並べて稼いでいる。

趣味も仕事と豪語するほど、とにかく仕事熱心。休日の海に出ていない時も網修理など忙しいが、それでも妻を愛でることには抜かりない。

～新婚旅行のつもりが・・・～

愛する奥さんとは新婚旅行で沖縄に遊びに出かけ、数ヶ月滞在を予定していた。毎日のように朝から夜遅くまで遊びつくし、楽しい日々を堪能していた。よほど沖縄が安田さんに合っていたのか、帰りたくなかったのか、気付けばなんと3年沖縄に滞在していたというのだから驚き。

（文責：永島 宗弥）